

07/918,649  
Attorney Pocket No. 4035-01441  
YABE, Hiroshige  
August 1, 2001



日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE  
BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP  
(703) 205-8000

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2000年11月10日

出願番号

Application Number:

特願2000-343325

出願人

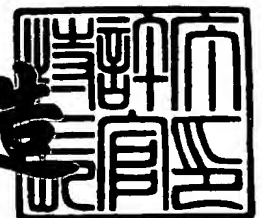
Applicant(s):

矢部 廣重

2001年 6月25日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3058456

【書類名】 特許願

【整理番号】 JWP-09128

【提出日】 平成12年11月10日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 7/00  
H04L 9/32  
H04L 12/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都八王子市山田町 1 6 9 2 - 3 0

【氏名】 矢部 廣重

【特許出願人】

【住所又は居所】 東京都八王子市山田町 1 6 9 2 - 3 0

【氏名又は名称】 矢部 廣重

【代理人】

【識別番号】 100090893

【弁理士】

【氏名又は名称】 渡邊 敏

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 014292

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 個別配信システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

受信者各人の端末が、無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピューターに接続されているシステムにおいて、

少なくとも受信者の名前とメールアドレスを含む受信者の個人情報を、予めホストコンピューターに入力しておいて、その個人情報によって受信者各人を識別する受信者識別手段と、

受信者の名前を、予めホストコンピューターに入力しておいた仮名前入り文章の仮名前と置換する名前置換手段と、

受信者の個人情報に基づいた所定の時刻に、名前置換手段によって受信者の名前が導入された文章を、受信者のメールアドレスへ個別に配信する配信手段とを備えることを特徴とする個別配信システム。

【請求項 2】

受信者の個人情報に、各人の属性、及び、各人固有の記念日が含まれる請求項 1 に記載の個別配信システム。

【請求項 3】

仮名前入り文章が、連絡事項を伝える事務的内容か、所定のプログラムに従った教育的内容か、奮起を促す心理的内容か、慶弔の意を伝える儀礼的内容である請求項 1 または 2 に記載の個別配信システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、インターネット等の通信手段を介して、受信者各人の名前の入った所望の文章を適宜個別に配信するシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

インターネット等の通信手段を介して、連続小説などの文章を定期的に配信す

るシステムは、従来から存在する。

しかし、その配信は、受信者全員に対して、同一のものを一方的に送る画一的なシステムであった。特に、連続小説が既に開始されてしまっている場合は、途中の回次から受信せざるを得ない。また、連続小説の内容に対して、受信者は何の影響も及ぼすことはできず閉鎖的であった。

#### 【0003】

##### 【発明が解決しようとする課題】

本発明は、上記従来技術の有する問題点に鑑みて創出されたものであり、その目的は、受信者個々人に対して、各人にふさわしい個別の内容の文章を配信するシステムを提供することである。

#### 【0004】

##### 【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の個別配信システムでは、インターネット等の通信手段を利用して、次のように課題の解決を図る。

すなわち、受信者各人の端末が、無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピュータに接続されているシステムにおいて、少なくとも受信者の名前とメールアドレスを含む受信者の個人情報を、予めホストコンピュータに入力しておいて、その個人情報によって受信者各人を識別する受信者識別手段と、受信者の名前を、予めホストコンピュータに入力しておいた仮名前入り文章の仮名前と置換する名前置換手段と、受信者の個人情報に基づいた所定の時刻に、名前置換手段によって受信者の名前が導入された文章を、受信者のメールアドレスへ個別に配信する配信手段とを設ける。

#### 【0005】

ここで、受信者の個人情報に、各人の属性、及び、各人固有の記念日を含めて、各人にふさわしい個別の内容の文章の配信に寄与させてもよい。

#### 【0006】

また、仮名前入り文章に、連絡事項を伝える事務的内容か、所定のプログラムに従った教育的内容か、奮起を促す心理的内容か、慶弔の意を伝える儀礼的内容であるものを用いて、送信目的の多様性に対応させてもよい。

【0007】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態を図面に示した実施例に基づいて説明する。

図1は、本発明のシステムの要部を示すブロック図である。

受信者が使用する携帯電話等の各端末には、文字や図形を入出力する手段と通信手段とが備わり、インターネットなどの無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピュータに接続されている。

【0008】

発信者は、まず、仮名前の入った複数の仮名前入り文章と、受信者の個人情報を、予めホストコンピュータに入力しておく。

ホストコンピュータに保持される仮名前入り文章は、発信者が、独自に作成した文章を入力したものに限らず、予め記録装置に蓄えられていたものを利用してもよい。

その仮名前入り文章の内容としては、連絡事項を伝える事務的内容、所定のプログラムに従った教育的内容、奮起を促す心理的内容、慶弔の意を伝える儀礼的内容など、発信者の送信目的に応じて多様なものが適宜用いられる。

【0009】

ホストコンピュータに保持される受信者の個人情報の項目としては、受信者の名前とメールアドレスの他、性別、年齢、誕生日など各種記念日、趣味嗜好、職業、会社名、部課名、役職等が挙げられる。

これらの個人情報を用いて、ホストコンピュータは、受信者識別手段によって受信者各人を類別して識別する。

【0010】

発信者が、ホストコンピュータに対して、送信する仮名前入り文章を選択入力すると、ホストコンピュータは、受信者識別手段によって、その仮名前入り文章を送信するのにふさわしい受信者をふるい分けし、引き続き、名前置換手段によって、仮名前入り文章中の仮名前を受信者の名前と置換する。

ここで、発信者は、ホストコンピュータに対して、送信先となる受信者を選択入力してもよい。その場合、ホストコンピュータは、受信者識別手段によっ

【図 2】

(イ)

今日の社長の言葉  
TEMP様へ

11 私の心にはいつも平安があり喜びがあります。  
私は愛し愛され、その心にはいつも調和があり  
感謝の心で満たされています。 10

「人間はいつも自分が考えている通りのものになる」  
とエマーソンはいいました。心の科学を研究する多くの人たちが  
皆そのように言います。心理学的に見ても良いことをいつも繰り返し  
返し考えている人と、否定的にいつも考えている人とはその  
心のあり方は全く違ってきます。毎朝、良いことばで一日を始め  
るようにしましょう。 11

TEMP様へ……今日も一日感謝の心を贈ります。 社長より

(ロ)

今日の社長の言葉  
岩山花子様へ

21 私の心にはいつも平安があり喜びがあります。  
私は愛し愛され、その心にはいつも調和があり  
感謝の心で満たされています。 20

「人間はいつも自分が考えている通りのものになる」  
とエマーソンはいいました。心の科学を研究する多くの人たちが  
皆そのように言います。心理学的に見ても良いことをいつも繰り返し  
返し考えている人と、否定的にいつも考えている人とはその  
心のあり方は全く違ってきます。毎朝、良いことばで一日を始め  
るようにしましょう。 21

岩山花子様へ……今日も一日感謝の心を贈ります。 社長より

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 受信者個々人に対して、各人にふさわしい個別の内容の文章を配信するシステムを提供すること。

【解決手段】 受信者各人の端末が、無線或いは有線の通信手段を介して、ホストコンピュータに接続されているシステムにおいて、少なくとも受信者の名前とメールアドレスを含む受信者の個人情報を、予めホストコンピュータに入力しておいて、その個人情報によって受信者各人を識別する受信者識別手段と、受信者の名前を、予めホストコンピュータに入力しておいた仮名前入り文章の仮名前と置換する名前置換手段と、受信者の個人情報に基づいた所定の時刻に、名前置換手段によって受信者の名前が導入された文章を、受信者のメールアドレスへ個別に配信する配信手段とを設ける。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [399094165]

1. 変更年月日	1999年 9月10日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都八王子市山田町1692-30
氏 名	矢部 廣重



て、その受信者の個人情報に含まれる各人の属性や各人固有の記念日など合わせて、各受信者にふさわしい個別の内容の仮名前入り文章をふるい分けし、引き続き、名前置換手段によって、仮名前入り文章中の仮名前を受信者の名前と置換する。

同様に、発信者は、ホストコンピュータに対して、送信する仮名前入り文章と送信先となる受信者との双方を選択入力してもよい。

#### 【0011】

そして、ホストコンピュータは、受信者の名前の入った個別の内容の名前入り文章を、配信手段によって、受信者の個人情報に基づいた所定の時刻等に、受信者のメールアドレスへ配信する。

図2は、その配信文章の例である。

#### 【0012】

発信者が、ホストコンピュータに対して、図2（イ）に示す仮名前入り文章（10）を選択入力したとすると、ホストコンピュータは、受信者識別手段によって、その仮名前入り文章（10）を送信するのにふさわしい受信者をふるい分けして求める。ホストコンピュータは、引き続き、名前置換手段によって、仮名前入り文章（10）中の仮名前「TEMP」（11）を受信者の名前「岩山花子」（21）と置換し、図2（ロ）に示す名前入り文章（20）を、配信手段によってその受信者のメールアドレスへ配信する。

この場合、発信者は、会社の社長であり、選択された仮名前入り文章（10）は、奮起を促す心理的内容である。そのため、ホストコンピュータは、その仮名前入り文章（10）を送信するのにふさわしい受信者として、その会社の社員を求め、送信するのにふさわしい時刻として、始業時刻を選択する。

#### 【0013】

仮名前入り文章（10）の内容が、例えば緊急の連絡事項を伝える事務的内容であるなど、受信の確認や返信を要する場合がある。

その場合、ホストコンピュータは、受信者からの返信を整理して、原発信者へ転送する。

このような例は、発信者としての医院が、受信者としての予約患者に対して、

予約確認の案内を診療日の前日に一斉に送信する場合に利用できる。医院は、患者からの返信で、来院確認または予約変更の意向を得られる一方、患者は、医院の臨時休業等の案内を得ることができる。

【 0 0 1 4 】

【発明の効果】

本発明の個別配信システムは、以上の構成を備えるので次の効果を奏する。

請求項 1 に記載のシステムによると、受信者の個人情報によって受信者各人を識別し、受信者の名前が入った文章を送信できるので、受信者個々人に対して、各人にふさわしい個別の内容で、その内容の効果のある文章を配信することができる。

【 0 0 1 5 】

請求項 2 に記載のシステムによると、受信者の個人情報に、各人の属性や記念日が含まれるので、各人にふさわしい個別の内容の文章の配信に役立つ。

【 0 0 1 6 】

請求項 3 に記載のシステムによると、仮名前入り文章に、事務的内容や、教育的内容、心理的内容、儀礼的内容が含まれるので、送信目的の多様性に対応させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明のシステムの要部を示すブロック図

【図 2】

配信文章の例

【符号の説明】

- 1 0 仮名前入り文章
- 1 1 仮名前
- 2 0 受信者の名前入り文章
- 2 1 受信者の名前

【書類名】 図面

【図 1】

